

# 「国語」・「算数」の力と学習の様子

～『R3 全国学力・学習状況調査(2021.5.27)』結果から～

今年度は、国語、算数の調査が行われました。どちらの教科にも、学校での授業の工夫や家庭での学習支援の効果が表れています。



◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

## ★国語について

### ①『学習指導要領の3観点における結果から』

- ◎ 「思考・判断・表現」では、「読むこと」がやや苦手な傾向がありましたが、「話すこと・聞くこと」および「書くこと」は、とてもよくできていました。「知識・技能」の言葉の特徴や使い方に関する事項もすぐれていました。

### ②『特に正答率の高かった問題』

- ◎ 漢字や同音異義語についてよく理解されていました。また、文章の構成を捉えながら読むことができていました。丁寧な学習が継続されていることや小テストを繰り返すことで小まめに習得を確認していることが、成果となっていると考えられます。

### ③『課題として』

- ▲ 文章の内容(何について述べられているのか。)を捉えることと文の組み立て(主述、修飾関係)を掴むことがやや苦手なようです。  
筆者の書き方の工夫を考えながら文章を読む練習をすることや文の組み立てについてもう一度復習する必要があります。



## ★算数について

### ①『学習指導要領の3観点における結果から』

- ◎ 「知識・技能」および「思考・判断・表現」の観点で優れた力を持っていることが分かりました。考え、表現する授業を研究してきたこと、分からなかったところがあってもそのままにせず、分かるようになるまで先生に質問したり、友だち同士で教え合ったりしてきたことが効果をあげています。

## ②『特に正答率の高かった問題』

- ◎ 図形の知識(工夫して面積を求めること)や式の意味の説明(どのようにして解答を導き出したかを分かりやすく書くこと)がとてもよくできていました。

## ③『課題として』

- ▲ 2つのコースの道のりを計算して比較する問題に課題があります。問題や図を落ち着いて正確に読みとる習慣をつけることが大切です。



# ★学習や生活について

◇よい傾向 ◆心配な傾向

## 《家庭や地域に関すること》

- ◇地域の行事に、多くの児童が参加しています。
- ◇新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中も計画的に学習できた児童が多かったです。
- ◆起きる時間と寝る時間が決まっていない児童が多い傾向にあります。

## 《学校に関すること》



- ◇ICT機器の使用率が大変高かったです。
- ◇課題を解決するまで、意欲的に根気よく取り組む児童が多いです。
- ◆英語の授業が好きと答える児童の割合が低い傾向にありますが、増加してきています。

## 《自分自身に関すること》



- ◇自分の感想や思いを伝えられる児童が多いです。
- ◆読書の時間が少ない傾向にあります。
- ◆困った人を進んで助けていると答えた児童が少ない傾向にあります。

学力面との関係で分析すると、

- ◇国語や算数の授業が好きである。
  - ◇家で計画を立てて勉強をしている。
- } と答えた児童ほど  
正答率が高くなっています。

- ◆国語や算数の授業が将来、社会に出たときに役に立つ。
  - ◆授業では、課題の解決に向けて、主体的に取り組んだ。
- } と答えなかった児童は  
正答率が低い傾向にあります。